

令和4年度八尾市産業振興会議 第3回本体会議 議事録	
日 時	令和5年2月27日(月) 15時00分～17時00分
場 所	八尾商工会議所会館 3階 セミナールーム・多目的室
出席者	<p><委員 11名> 山縣座長、滝本副座長、岡田委員、樫本委員、梶本委員、高垣委員、佐藤委員、西村委員、美馬委員、三宅委員、山田委員</p> <p><事務局 10名> 新堂部長、後藤課長、林田課長補佐、田中参事、藤原係長、中谷係長、稲森係長、高尾、杉原、運営支援事業者 肥後氏</p>
<p>－事務局による司会で次第に沿って進行－</p> <p>1. 開 会 事務局より、欠席を報告。併せて、全委員19名のうち11名の委員の出席となっており、八尾市産業振興会議規則第3条に規定する過半数の委員の出席により、本日の会議が成立していることを報告。</p> <p>2. 議 事 －山縣座長による議事進行－</p> <p>(1) チェックイン グラフィックファシリテーターの肥後氏より、チェックインの方法について説明。各自、自己紹介を行う。</p> <p>(2) ワーク1：検討部会からの報告を受けての感想 検討部会からの報告を受けて、「このようなことができるのではないかと提案を行った。</p> <p>【農地活用】</p> <p>1：テーマ…食料難に対処するための農業のススメ 2：講 師…ジャックスクリーン今岡さん 3：内 容…まずは小さい畑から 4：目 的…やってくる食料難への備え 5：効 果…八尾の土地活用、作物ブランドの構築</p> <p>-----</p>	

【子供たちがチャレンジすることを応援するまち】

【子供たちを地域や企業で育てていくまち】

- 1 : テーマ…好きなことを仕事にする
- 2 : 講師…趣味の延長が仕事になった方
- 3 : 内容…特別な資格がなくても、商売ができる経験談など
- 4 : 目的…楽しいことでお金を稼げるという夢を拡げる
- 5 : 効果…早い段階から選択肢を増やすことができる

-
- 1 : テーマ…起業家（企業家）ストーリー
 - 2 : 講師…八尾の経営者
 - 3 : 内容…何で経営するのか？商売しているのか？何を目指しているのか？何を
実現したいのか？→その後、子供達で自分だったらどうするかグルー
プで話してもらい発表
 - 4 : 目的・5 : 効果…夢を抱いてもらい、目的意識を持つ次のステップを用意する為

-
- 1 : テーマ…塗らない黒の可能性
 - 2 : 講師…アベル居相浩介さん
 - 3 : 内容…塗らずに黒が出てくる仕組みを知り、そこからどんなことができるか
を妄想する
 - 4 : 目的…子供、中学生の想像力を拡げるとともに技術のすごさを知る
 - 5 : 効果…八尾にある「すごいわざ」を知る。理科的な知識と想像力を繋ぐ

-
- 1 : テーマ…八尾の女性起業家のお商売をはじめるまで
 - 2 : 講師…グローバルフラット佐藤さん
 - 3 : 内容…なぜ、その事業をやってみようと思ったのか→どうやって実行してい
ったのか、障害・問題が生じた時、どうしたか、助けてくれる人は
お金の問題・公的な支援・やりがい・社会的意義と儲け
 - 4 : 目的…道が見えないから不安でチャレンジできない人へのエール
 - 5 : 効果…やる気

【みせるばやおでの、高校生大学生向けのコンテンツ】

【みせるばやおでの、出戻りの人を迎え入れる仕組み】

●ビジネスエリート塾

プロが現実に企業やアイデアを商売・商品にしていく。

塾形式でリアルにビジネスデビューさせていく

●失敗大賞

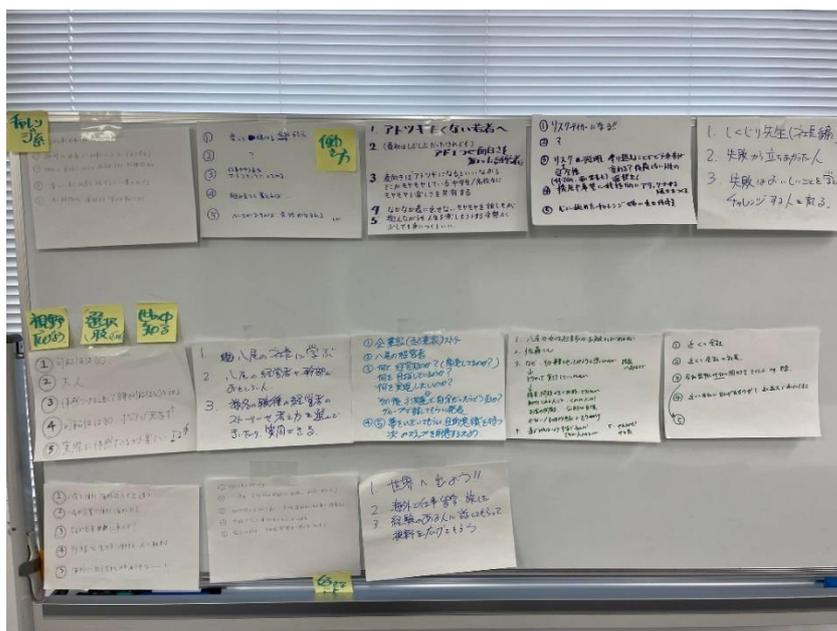
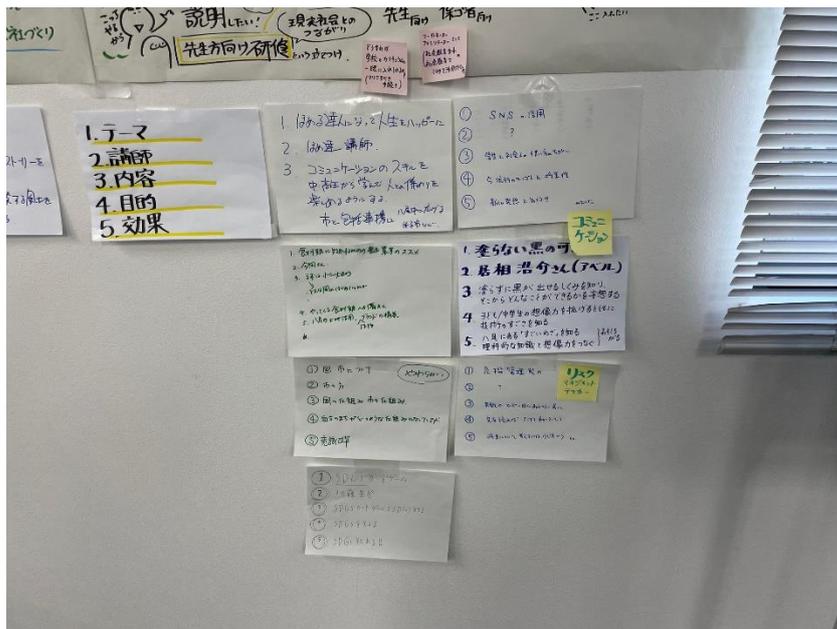
チャレンジして失敗したストーリーをコンテストで競う
チャレンジした人を賞賛する風土を作るきっかけにする

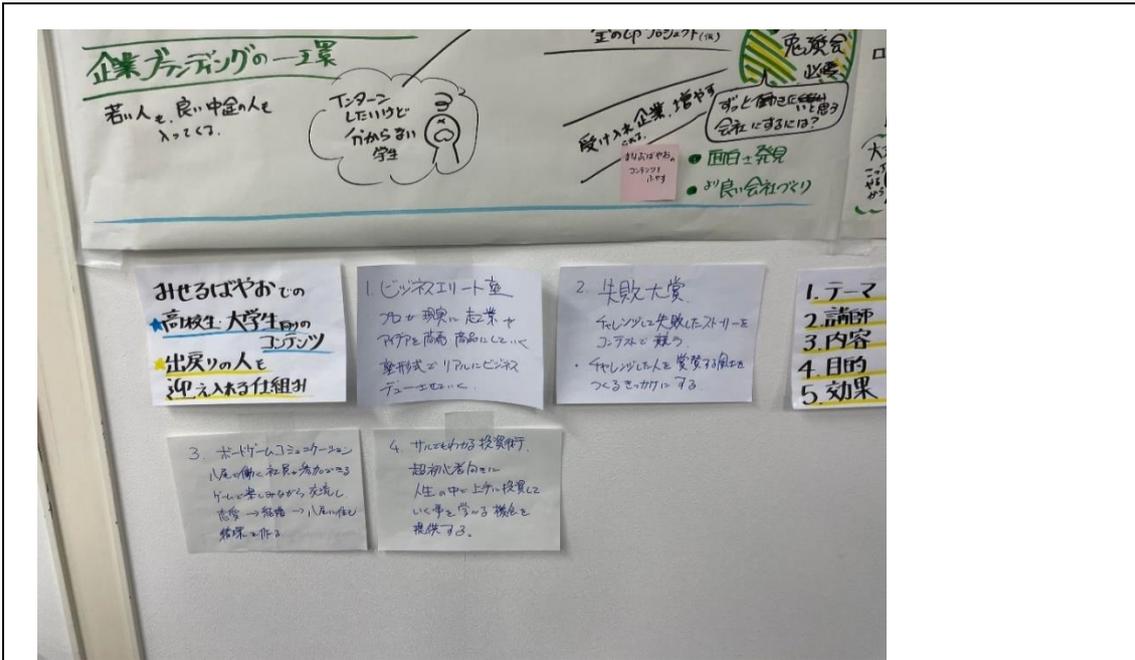
●ボードゲームコミュニケーション

八尾で働く社員が参加できる。ゲームで楽しみながら交流。
恋愛→結婚→八尾に住む 循環を作る。

●サルでもわかる投資術

章初心者向けに、人生の中で上手に投資していくことを学べる機会を提供する。





(3) 来年度の提言書の方向性について

来年度の提言書の方向性について、山縣座長より説明があった

- ・学校の中に違うものが入り込むことの難しさを痛感している。

社会教育士（社会教育主事）という資格があり、社会と教育を繋いだり、コーディネートしたり、ファシリテートできる人のことで、このような有識者の人との連携を図り、学校の中に無理なく入れるにはどうしたらいいのかを模索していく。

(4) ワーク2：来年度に向けて

山縣座長より上記の説明を受け、来年度に向けての発表を行った。

「農業」

- ・経営としては難しい。求めるけれど、だからと言って産業に持っていくには難しい
- ・空き家活用などは話題にあがるが、八尾市が農地活用を考えていることが素晴らしい
- ・スケール感がイメージできない、商いとしてはメリットあるのか不明

「教育」

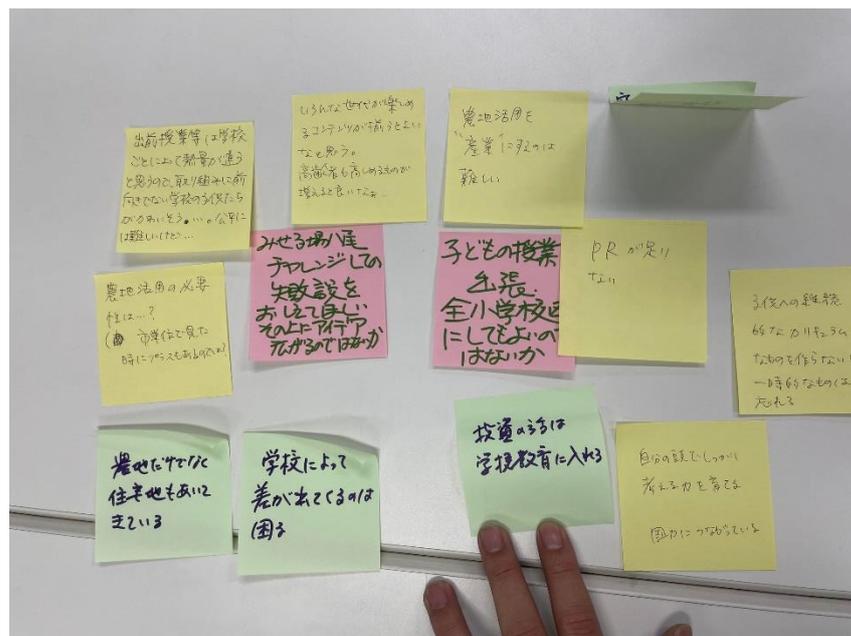
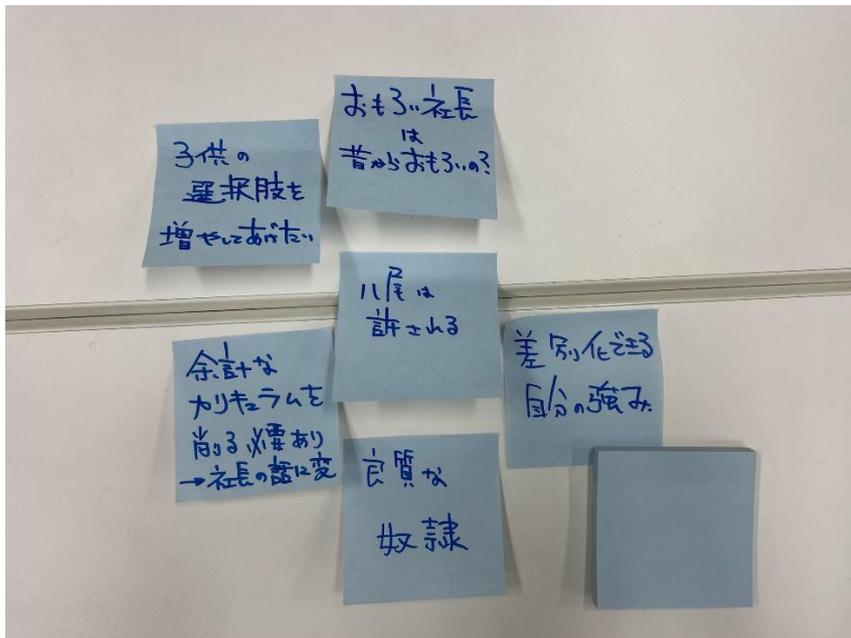
- ・子供への出張講義をやってほしい
- ・小学校により、温度差がある。熱量の高い学校に当たればいいが、そうじゃない場合もある。これらも今後考えていく必要がある
- ・子供達が住み続けたい町、働き続けたい町になってほしい
- ・キャリア教育をやっていくことは大事だが、学校に余裕はない、授業をするだけでいっぱい。キャリア教育をやって当然という解釈になっては困る。位置付けるまで

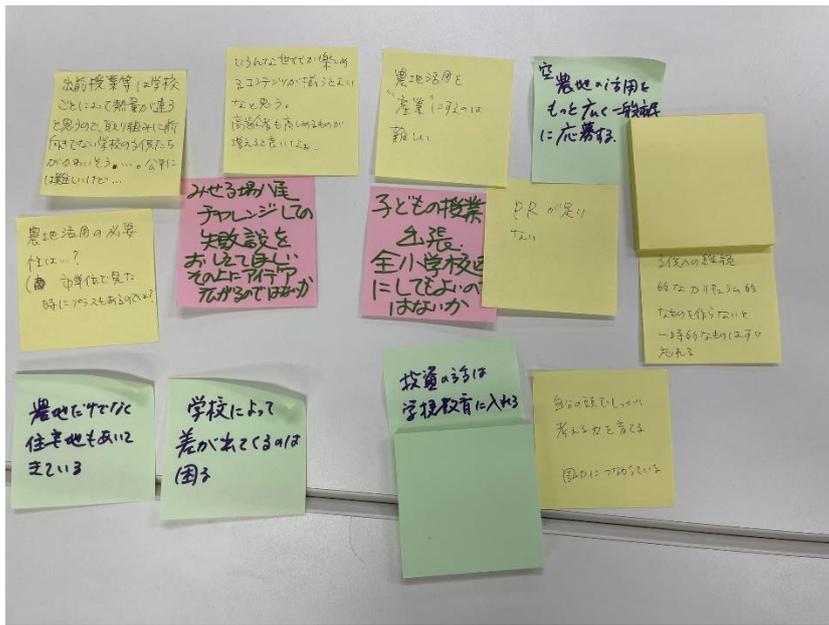
は時間がかかる。でも、今こうやって、組み込んでいくにはどうしたらいいかを検討していることがとても大事

- ・産業振興会議は校長先生がいらっしやる。直接対話できる貴重な機会
- ・人と心とコミュニケーション
- ・学校の先生が大変であることも、理解・発信した方がいいかもしれない
- ・「じゃあどうしたらうまくやっていけるか」を考える
- ・産業と教育とが結びつくことによって、もっと未来は明るい

「みせるばやお」

- ・八尾はチャレンジできるまち、チャレンジした人を応援できる町に





5. その他連絡事項について

- ・事務局より学校教育推進課と広報・公民連携課に聞き取りした内容を共有
- ・次回会議日程：令和5年4月17日（月）の18時30分～20時30分

3. 閉会

- ・魅力創造部長より閉会のあいさつ

以上

《参 考：当日のグラフィックレコーディング》



